

平成 28 年度

## 県内助産師のネットワーク作りとキャリアアップをはかる事業

本事業は、県内の助産師活動の連携や相互の浸透を図る助産師のネットワーク作りと、助産師活動をさらに活性化することを目的として、グループワークを組み込んだ研修会を開催しています。

本年度第 1 回目の研修会を 6 月 25 日に開催しました。

テーマ：「医療安全 -患者との対応力の向上を目指して- 」

講師：甲斐由紀子先生 宮崎大学医学部看護学科・大学院看護学研究科 教授

プログラム：講義 1) インシデントの考え方 (よりよい患者への接し方)

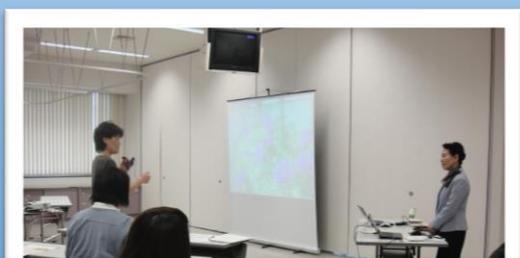
2) メディエーション (よりよい患者への接し方)

3) クレーム対応 (よりよい患者への接し方)

4) 共感表明

### グループワーク

参加人数は 26 名でした。甲斐先生の講義のあと、病院診療所勤務の助産師・地域で母子を支援している助産師・教育の現場で働いている助産師と、活動形態の異なる助産師同士が小グループに分かれ、事例検討に臨みました。



県北・県央・県西と各地から参加がありました。自分の実践と照らして、講師に質問したり、グループワークでも意見が活発に出ているようでした。

### 研修会終了後の参加者の学び

「勤務助産師・助産院の助産師達・助産師教員が集まり、いろいろ意見がきけ、活発な意見交換ができ勉強になった。」「スタッフ間の報告・相談の重要性と、それをしやすい環境が大切。」「患者への声掛けの難しさ、限定謝罪の判断など多くのことを考え学んだ。」「今後に活かしたい。」「グループワークを通して問題が発生した時の対応を考えることができた。」「まず、相手と話して相手の考えを理解する、受け止めることが大切であるとわかった。」「日頃の自分の対応を振り返ることができた。」「事例を通してたくさんのことを考えることができた。」

上記は、アンケートの一部です。

